

第3回柴又地域学校改築懇談会のまとめ

●開催日時
令和6年2月28日(水曜日) 19:00~20:00

- 内容
- 1. 会長挨拶
- 2. アンケートの結果報告について
- 3. 教育環境について
 - ① 工事に付随する課題
 - ② 新校舎での教育環境
 - ③ 柴又街道横断時の安全確保
- 4. 意見交換



第2回懇談会において事務局より提案のあった ①教育環境 ②望ましい学級数 ③施設規模、地域の拠点となる学校づくりをテーマに今後の懇談会で意見交換していくことを確認しました。

第3回では、第2回での意見やアンケートの結果報告と教育環境をテーマに意見交換を行いました。

アンケートの結果・回答

- 学校敷地以外の場所における仮設校舎の整備について
他の場所も検討しましたが、敷地面積、児童の通学距離など考慮した結果、通学区域内やその近隣において、学校整備に合致する敷地がないのが現状です。
- 避難所が減ることについて及び両小学校の地域の文化の継承について
避難所の収容規模や歴史・文化の継承については第5回懇談会にて意見交換を行います。

工事中の教育環境についての意見交換(要旨)

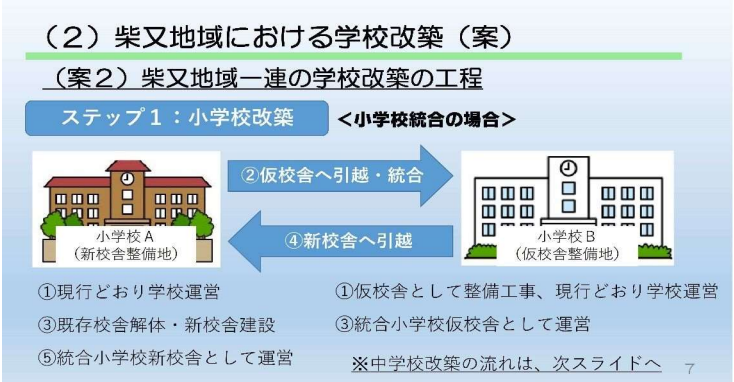
- (意見)
- 柴又地域一連の学校改築の場合、仮校舎でも新しい学校でも柴又小学校と東柴又小学校の児童が入れるだけの教室数が確保できるのか心配。
 - 柴又小学校、東柴又小学校が統合したら両校の児童約600人が同じ学校に通うことになり、工事期間中は校庭が狭くなると思うので運動できる空間を確保してほしい。
- (区からの回答)
- 区の考える建て替え方法において、仮校舎、新しい校舎いずれにおいても、敷地を有効に活用し児童数に応じた規模の校舎を整備します。
 - 仮校舎は、既存の校舎を活用し、足りない教室分だけ仮設校舎を整備しますので、校庭全てを仮設校舎で利用する予定はありません。よって、現状よりは多少狭くはなりますが運動できる空間は確保してまいります。

通学路の安全確保についての意見交換(要旨)

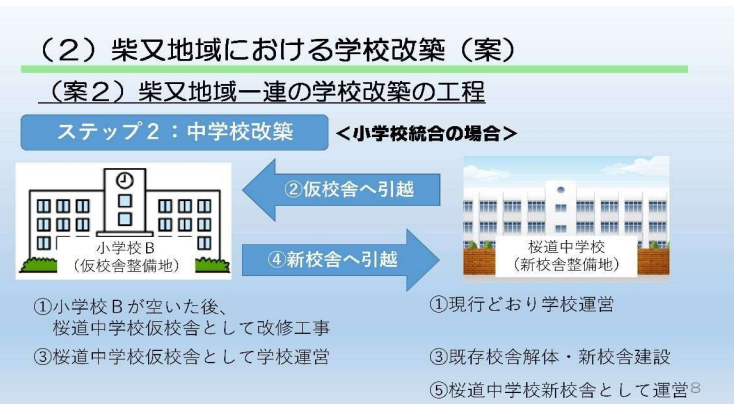
- (意見)
- 2つの小学校が1つになったら柴又街道を横断する児童が増えるので、交通誘導員を増やすなど、安全対策をしっかりやってほしい。
- (区からの回答)
- 過去5年間で柴又街道を横断する通学路において児童の事故は発生していないことは警視庁に確認していますが、現在配置している交通誘導員の増員を行うなど、学校、警察などと協議をしながら児童の安全確保を図ってまいります。

区の考える建て替え方法

- ステップ1:小学校の改築
- ①柴又小学校・東柴又小学校を統合し、いずれかの敷地に新校舎を整備する。
 - ②新校舎工事中は新校舎を整備しない方の学校を統合した小学校の仮校舎として使用する。
 - ③新校舎完成後に引っ越し、統合した小学校として運営開始。



- ステップ2:中学校の改築
- ①統合した小学校が仮校舎として使用していた小学校校舎を中学校の仮校舎として使用するため、引っ越し、仮校舎で運営する。
 - ②引っ越し後、中学校の既存校舎を解体し、新校舎を建設する。
 - ③新校舎完成後に引っ越し、運営開始。



柴又地域学校改築懇談会 ～第4回～

令和6年3月28日（木）

葛飾区
葛飾区教育委員会

本日の内容

※本資料中の「柴又地域の学校」は柴又小学校・東柴又小学校・桜道中学校を指します

【本日のテーマ】 望ましい学級数について

柴又小学校、東柴又小学校の児童数の推移などをもとに学校規模について意見交換します。

【本日の進め方】

- (1) 区の考え方を説明
- (2) 意見交換

(1) 柴又地域における学校改築（案）について

柴又地域の新たな学校づくりの3つの柱

○ 工事中の教育環境への影響低減

○ 未来を見据えた教育環境の整備

○ 地域の拠点となる学校づくり

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

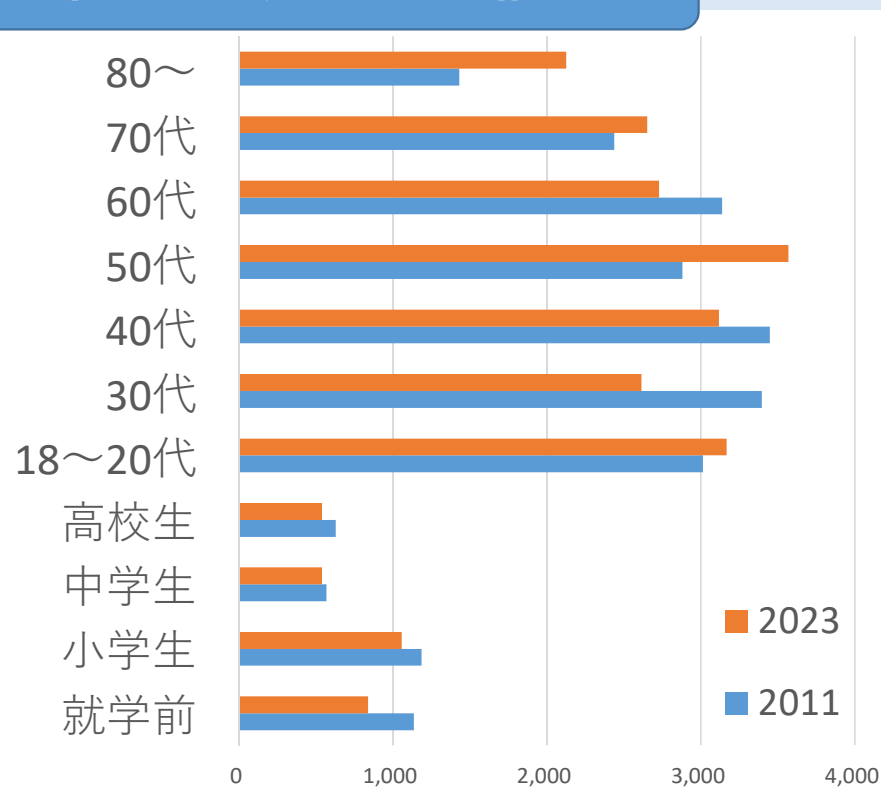
【本日のテーマ】 望ましい学級数について

- ① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移
- ② 小学校を統合した場合の想定規模

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

柴又地域の人口構成

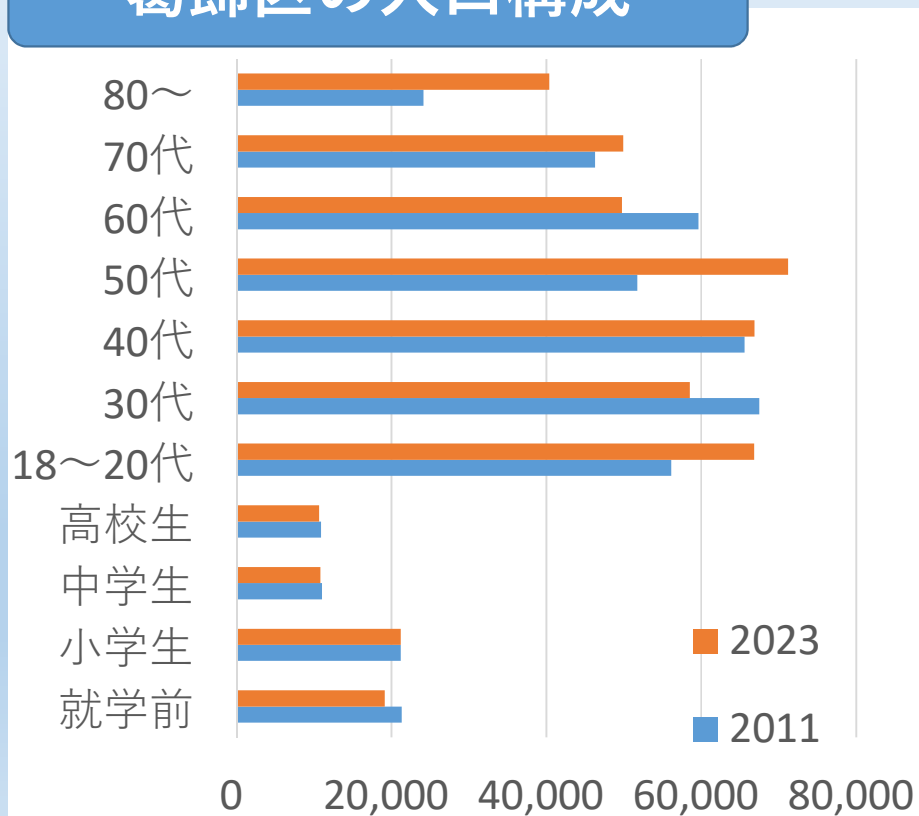


	2011	2023	増減
就学前	1,135	838	-297
小学生	1,186	1,057	-129
中学生	567	538	-29
高校生	628	539	-89
18～20代	3,013	3,167	154
30代	3,395	2,613	-782
40代	3,448	3,117	-331
50代	2,879	3,568	689
60代	3,137	2,728	-409
70代	2,437	2,651	214
80～	1,430	2,126	696
全体	23,255	22,942	-313

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

葛飾区の人口構成

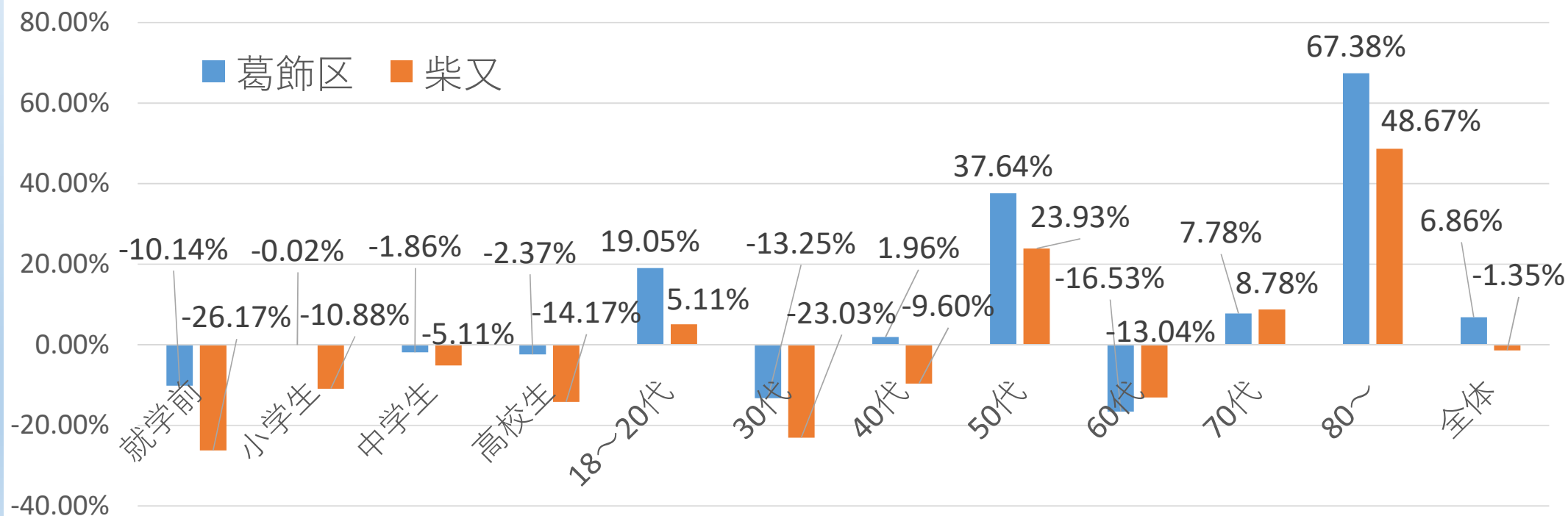


	2011	2023	増減
就学前	21,323	19,161	-2,162
小学生	21,208	21,203	-5
中学生	11,032	10,827	-205
高校生	10,939	10,680	-259
18～20代	56,116	66,805	10,689
30代	67,466	58,529	-8,937
40代	65,568	66,851	1,283
50代	51,721	71,191	19,470
60代	59,621	49,764	-9,857
70代	46,294	49,897	3,603
80～	24,123	40,377	16,254
全体	435,411	465,285	29,874

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

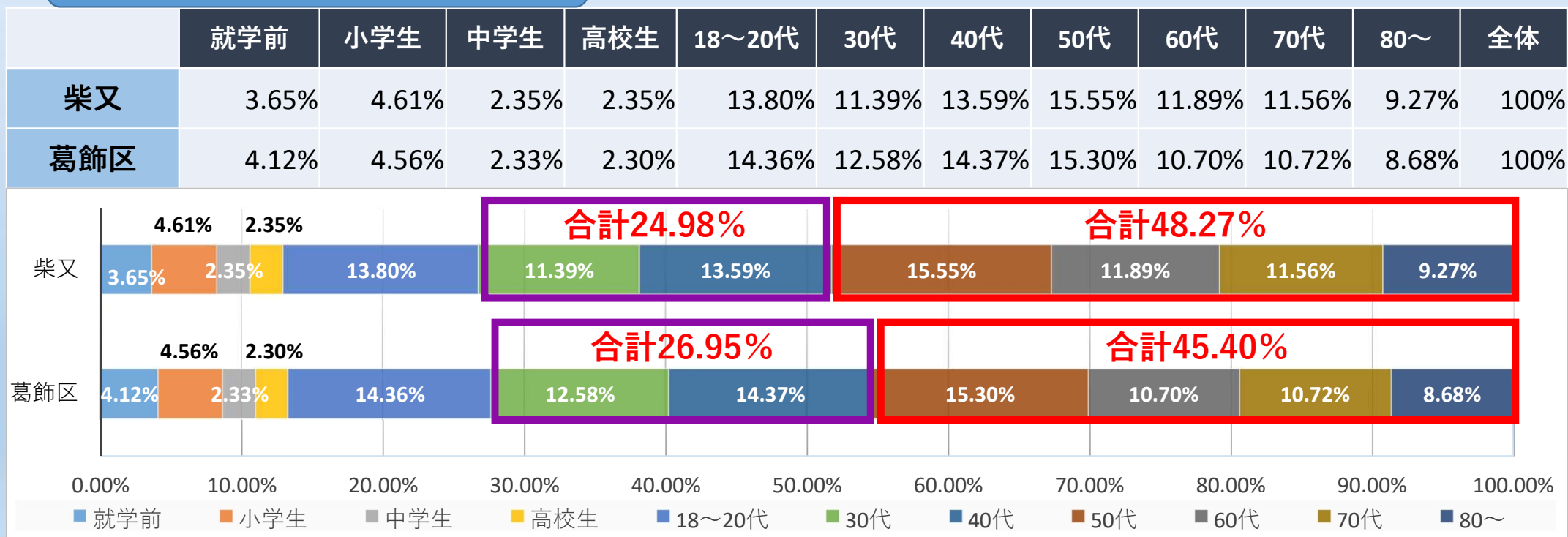
人口増減率



(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

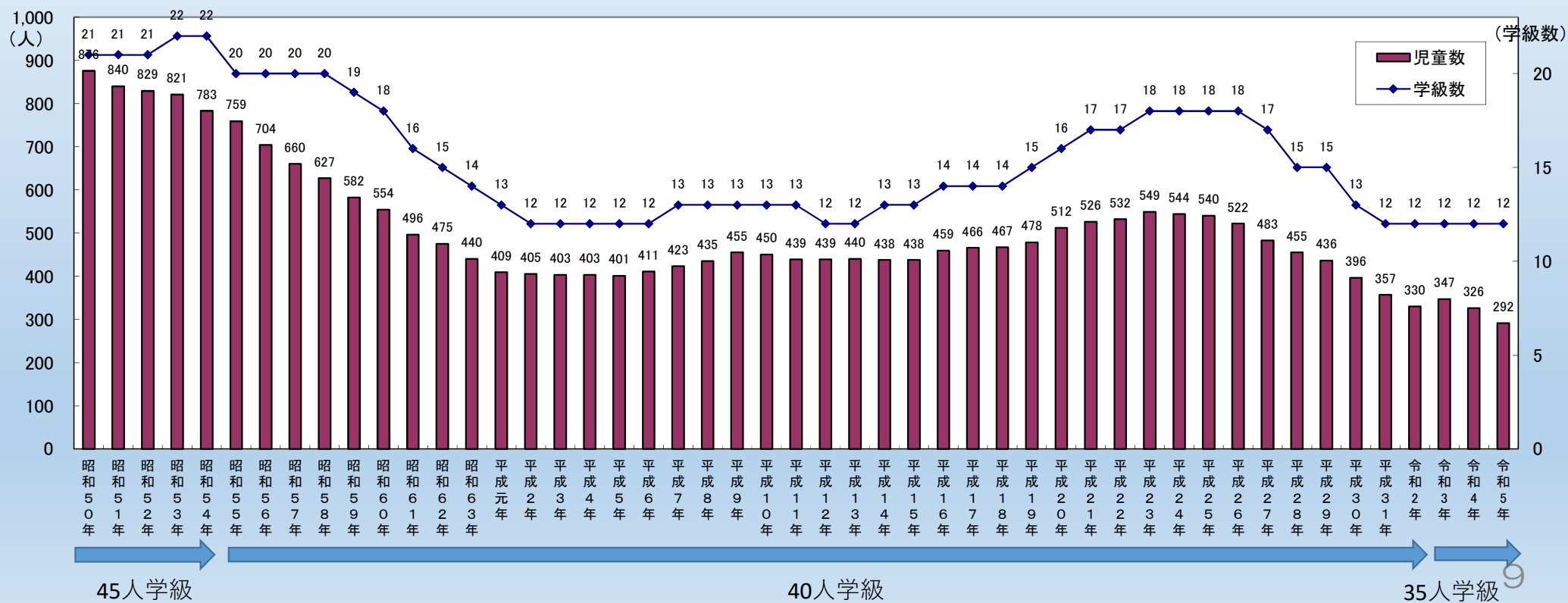
人口構成率 (2023年)



(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

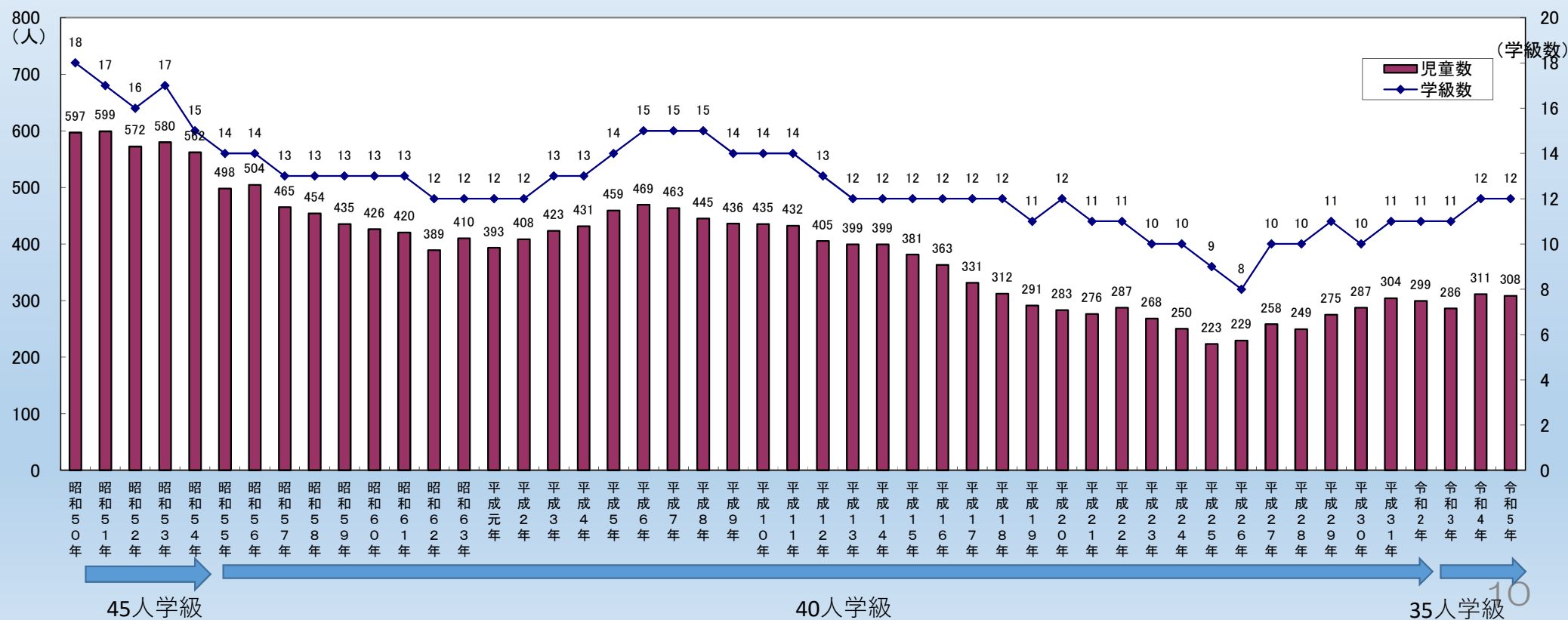
◆ 柴又小学校の児童・学級数の推移



(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 東柴又小学校の児童・学級数の推移



(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆通学区域別住民登録者数推移（小学校）

単位：人

学校	平成30年4月							令和5年4月							増減							増減割合
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	計	
柴又小	56	57	51	40	56	50	310	55	53	47	50	49	49	303	▲1	▲4	▲4	10	▲7	▲1	▲7	-2%
東柴又小	46	53	48	62	46	51	306	35	38	39	37	38	42	229	▲11	▲15	▲9	▲25	▲8	▲9	▲77	-25%

⇒児童数は減少見込みで、
区が考える適正学級数（12学級から18学級）を将来的に
下回る可能性がある。

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

【参考】 葛飾区学校適正規模等に関する方針（提言）

12～18学級を適正規模とするものの、人口の減少傾向や少子化が進むことで単学級になる可能性も考慮し、**18学級を望ましい規模**とする。

<小規模化による課題>

- 人間関係の硬直化
- 児童・生徒が切磋琢磨する場面の減少
- 集団学習の実施制約が生じる
- 集団への適応

など

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の未就学児の小学校入学までの転出入

柴又小学校

各年度の未就学児数（満年齢）

単位：人

	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1歳	60	58	52	56	56	55
2歳	52	57	53	52	48	53
3歳	41	51	52	51	55	47
4歳	54	40	50	48	51	50
5歳	51	56	39	51	50	49
6歳	60	50	55	39	53	49
合計	318	312	301	297	313	303

➡ ほぼ横ばいか、減少（転出）傾向がある

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の未就学児の小学校入学までの転出入

東柴又小学校

各年度の未就学児数（満年齢）

単位：人

	H30	H31	R2	R3	R4	R5
1歳	53	46	45	47	39	35
2歳	51	53	43	42	46	38
3歳	60	48	52	41	40	39
4歳	48	62	45	47	42	37
5歳	52	48	57	44	45	38
6歳	47	51	44	54	44	42
合計	311	308	286	275	256	229

➡ ほぼ横ばいか、減少（転出）傾向がある

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の学区域別転出入

柴又小学校学区域内の希望

単位：人

	H29	H30	H31	R2	R3	R4
柴又	47	36	39	32	41	29
東柴又	9	3	7	5	5	2
北野	3	2	3	6	4	2
住吉	1	1	1	2	1	0
鎌倉	10	9	5	4	10	8
高砂	1	0	0	0	0	1
柴原	0	0	0	0	1	0
細田	0	0	0	0	0	1
学区外合計	24	15	16	17	21	14

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の学区域別転出入

柴又小学校学区域外の希望

単位：人

	H29	H30	H31	R2	R3	R4
東柴又	5	4	4	4	3	5
北野	7	7	12	7	4	6
住吉	1	0	1	0	0	0
鎌倉	1	1	1	0	0	0
高砂	1	1	1	0	0	0
金町	0	1	1	1	0	1
合計	15	14	20	12	7	12

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の学区域別転出入

東柴又小学校学区域内の希望

単位：人

	H29	H30	H31	R2	R3	R4
東柴又	36	44	39	45	40	44
柴又	5	4	4	4	3	5
北野	0	0	0	0	0	0
住吉	0	0	0	0	0	0
鎌倉	6	8	4	4	5	4
高砂	1	0	0	0	0	0
半田	0	1	1	0	0	0
亀青	0	0	0	0	0	1
学区外合計	12	13	9	8	8	10

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の学区域別転出入

東柴又小学校学区域外の希望

単位：人

	H29	H30	H31	R2	R3	R4
柴又	9	3	7	5	5	2
北野	0	0	0	0	0	0
住吉	1	0	0	0	0	0
鎌倉	0	0	0	2	0	0
高砂	0	0	1	0	0	0
細田	0	1	0	0	0	0
合計	10	4	8	7	5	2

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の学区域別転出入

統合した場合の学区域希望

単位：人

	H29	H30	H31	R2	R3	R4
学区域内	97	87	89	86	89	80
転入	22	21	14	16	21	17
転出	11	11	17	10	4	7
合計	108	97	86	92	106	90

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の小学校入学後の転出入

柴又小学校

入学年度別の児童数推計（直近7年）

単位：人

入学年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	増減
平成24年	88	84	82	81	79	79	-9
平成25年	87	87	88	87	88	88	1
平成26年	79	78	81	81	78	76	-3
平成27年	49	51	49	48	48	49	0
平成28年	69	68	64	61	59	61	-8
平成29年	71	67	67	69	69	70	-1
平成30年	51	50	49	50	48	48	-3

➡ 平成以降30年を集計すると、20年は減少

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の小学校入学後の転出入

東柴又小学校

入学年度別の児童数推計（直近7年）

単位：人

入学年度	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	増減
平成24年	38	38	39	40	42	44	6
平成25年	23	25	26	26	26	27	4
平成26年	50	52	53	54	55	54	4
平成27年	63	63	64	64	63	63	0
平成28年	36	38	36	35	34	34	-2
平成29年	49	48	46	45	45	45	-4
平成30年	57	58	57	58	60	55	-2

➡ 平成以降30年を集計すると、増減発生はほぼ同数

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

① 柴又地域における人口の現状と児童数の推移

◆ 柴又地域の児童数まとめ

	柴又小学校	東柴又小学校	備考等
未就学児の数	減少傾向	減少傾向	・ 東柴又小学校通学区域内では 0歳が35人前後を推移 →単学級の可能性 ・ 子育て世代も減少傾向
未就学児の転出入	転出傾向	転出傾向	
統合した場合の 通学区域外転出入	転入の方が多い傾向		・ 学区域の転出入を含めて 1学年3学級程度
入学後の転出入	転出傾向	ほぼ横ばい	

➡ 減少傾向と規模から、18学級程度で適正規模を維持できると考える。

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

② 小学校を統合した場合の想定規模

仮校舎児童数・学級数

< 令和8年度想定 >

単位：人（カッコ内は学級数）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
柴又	50 (2)	49 (2)	49 (2)	52 (2)	41 (2)	53 (2)	294 (12)
東柴又	37 (2)	38 (2)	42 (2)	47 (2)	53 (2)	47 (2)	264 (12)
統合校	87 (3)	87 (3)	91 (3)	99 (3)	94 (3)	100 (3)	558 (18)

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

② 小学校を統合した場合の想定規模

仮校舎必要教室数

< 令和 8 年度想定 >

< 柴又小学校が仮校舎の場合 >

	普通 教室	特別 支援	合計
必要数	19	4	23
柴又現有	17	4	21
増築数	2	0	2

< 東柴又小学校が仮校舎の場合 >

	普通 教室	特別 支援	合計
必要数	19	4	23
東柴又現有	14	0	14
増築数	5	4	9

※普通教室の必要数には、少人数教室 1 室を含む

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

② 小学校を統合した場合の想定規模

新校舎児童・学級数

< 令和 1 1 年度想定 >

単位：人（カッコ内は学級数）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
柴又	55 (2)	53 (2)	47 (2)	50 (2)	49 (2)	49 (2)	303 (12)
東柴又	35 (1)	38 (2)	39 (2)	37 (2)	38 (2)	42 (2)	229 (11)
統合校	90 (3)	91 (3)	86 (3)	87 (3)	87 (3)	91 (3)	532 (18)

(2) 未来を見据えた教育環境の整備

② 小学校を統合した場合の想定規模

新校舎の施設規模

普通教室：18教室、少人数教室：3教室、特別支援学級：4教室、特別教室、屋内運動場、校内学童、校庭

など

統合後の教職員数

< 18学級想定 >

校長1、副校長1、養護教諭1、担任教諭18、専科3 (+加配)

< 参考：6～16学級の場合 >

校長1、副校長1、養護教諭1、担任教諭(学級数)、専科2

【まとめ】 未来を見据えた教育環境

	柴又単独改築	柴又一連の改築（案）
児童数・学級数	<ul style="list-style-type: none"> 柴又小学校は12学級を維持する一方、東柴又小学校は将来的に単学級の学年が発生する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校統合により18学級を維持できる。
新校舎規模	<ul style="list-style-type: none"> 柴又小学校児童数等を踏まえて規模を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校は18学級規模、中学校は生徒数等を踏まえて整備を検討する。
仮校舎規模	<ul style="list-style-type: none"> 柴又小学校の敷地内に1校分の仮校舎を整備する。 東柴又小学校・桜道中学校を単独改築をする際は、敷地内に1校分の仮校舎を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 柴又小学校もしくは東柴又小学校に不足分の諸室のみ整備する。 （改築工事に伴う騒音・振動の影響軽減、工事中も校庭有） 桜道中学校は空いた小学校仮校舎を利用する。 （騒音・振動の影響なし、工事中も校庭有、一部設備は改修）

(3) ご意見・質疑

お問い合わせ方法

以下のいずれかで、可能な限り具体的にお願いいたします。

(1) 専用入力フォーム

右側のQRコードをスマホ等で読み取り、
入力をお願いいたします。

(2) 質疑票をFAX

本日の配布資料にある質疑票にご記入のうえ、
03-5698-1536 までFAXを送付ください。



(4) 柴又小学校・東柴又小学校の文化について

回答方法

柴又・東柴又小学校の文化について、次回懇談会で議論予定です。
皆様をご存知の両校の文化を 4月8日(月)までに
以下のいずれかで、可能な限り具体的にご回答お願いいたします。

(1) 専用入力フォーム

右側のQRコードをスマホ等で読み取り、
入力をお願いいたします。

(2) 質疑票をFAX

本日の配布資料にある質疑票にご記入のうえ、
03-5698-1536 までFAXを送付ください。

※ご意見・質疑と合わせてご記入ください。

